



# Rotary Club of SUGITO

## 杉戸ロータリークラブ週報

2015～2016 年度 RI のテーマ

Be a gift to the world

会長 渋谷 忠明 幹事 折原 正昭

<http://www.sugito.club>

**第2303回例会 2015年8月13日休会**

**第2304回例会 2015年8月20日**

**点鐘**

渋谷会長

**ロータリーソング**

我等の生業

**四つのテストの唱和**

真中会員

**会長挨拶**

渋谷会長

先日8月9日をもちまして、6月から始まりました地区の部門セミナーがすべて終了致しました。各委員長、出席者の皆さまありがとうございました。



8月1日の奉仕PJセミナーでは、地区での新しい事業である認知症サポーターについて話がありました。最近では痴呆症と言う言葉は聞かなくなりましたね。2004年政府で「痴呆症」は差別的要素が含まれるという事で「認知症」に改めたそうです。認知症の症状は男性と女性に違いがあるそうです。認知症になった男性が最後まで覚えているのは奥さんの名前と顔で、女性は最初に忘れるのは旦那さんの顔と名前と声だそうです。また、奥さんに先立たれた男性の余命は約5年なのに対し、女性は22年なのだそうです。私たちはお腹の中にいる時、6か月までは女性として生まれ6か月以降に男女に分かれるそうです。生命力と言う点では女性には敵いませんね。

今月のロータリーの友「RI会長メッセージ」にレゴブロックの考案者であるオーレ・キアク・クリスチャンセンの話が載っています。創業当時のレゴ社の代表的商品は、ニスを3度塗りしたブナ材で作られたアヒルのおもちゃでした。ある日彼の息子がコストを削減する為ニスを2度塗りした商品を納品しました。すると彼は息子に商品を回収させ一人でニスを塗り直す作業をさせました。その時に息子は品質とは何かを学んだと語っています。「クリスチャンセンが質の劣った製品の出荷を拒んだように、自らの仕

事において手を抜くことを拒むべきです。特に職業やロータリーでの活動においては常に最高を目指さなければならない」とRI会長のメッセージにあります。

### 幹事報告

折原幹事



- 広報部門より、地区マスコット着ぐるみ貸出額の訂正の案内が届いております。着ぐるみ貸出額を5,000円としましたが、クリーニング代+修繕費の計上により料金を10,000円とすることになりました。
- 富岡ロータリークラブより暑中見舞い状がとどいております。
- 富岡町より、富岡町合併60周年記念式典に係る感謝状及び記念品が届いております。
- 浦和ロータリークラブ、青少年奉仕委員会、インターアクト委員会より、第28回インターアクト年次大会の御礼状が届いております。
- 国際奉仕部門より、フィリピン第3800地区からの支援要請リストが届いております。
- 春日部青年会議所より、創立50周年記念式典出席の御礼状が届いております。
- 平成27年8月16日(日)浦和大学にて開催される、第28回インターアクト年次大会の案内が届いております。講師は浦和大学特任教授 河東田 博(かとうだひろし)先生です。
- 国際奉仕部門より、平成27年9月20日(日)より3泊4日RI第3800地区フィリピン国際奉仕プロジェクト視察体験ツアーの案内が届いております。
- 地区補助金運営委員会より、申請のあった前クラブにおいて事業の承認がされ、R財団より日本事務所に補助金の振込済みである連絡がありました。今週各クラブに振込がありますと案内が届いております。

例会日: 木曜日 12:30~13:30 例会場: 埼玉懸信用金庫 杉戸支店 2F

事務所: 杉戸町杉戸 2-15-21 埼玉懸信用金庫 杉戸支店 2F

TEL&FAX 0480-31-0031

## 廣井年度決算報告

先程の会長の時間で、認知症の話がありました。アルツハイマーをご存じでしょうか。私の母がまさにその病気でした。96歳で亡くなる2年まえに、東埼玉病院の脳神経外科の馬場先生に診察してもらいまして、MRIで黒く見えるタンパク質の沈着がアルツハイマーの特徴なのだとおっしゃられました。認知症は病名ではなく、認識したり、記憶したり、判断したりする力が障害を受け、社会生活に支障をきたす状態のことです。アルツハイマー病は脳が委縮する病気です。余談ではありますが、ちょっと思い出しました。では、廣井年度の会計報告をいたします。



矢島会員

※2014-15 決算報告は最終ページに掲載

## 社会奉仕セミナー報告

私はロータリアンとして様々なセミナーに参加して参りましたが今回ほど素晴らしいセミナーはありませんでした。

栃木県・那須塩原市にあるベーカリー「パン・アキモ」。一見、どこの街にもある普通のパン屋さんかと思いきや、実はこの会社の「ある商品」が世界中の人々を喜ばせています。それは「パンの缶詰」。災害時のための非常食です。非常食というと乾パンのように固いものを想像してしまいが、「パン・アキモ」のパンの缶詰はなんと製造から3年がたっても、焼きたてパンのようにふわふわで柔らかいのです。



下津谷会員

社長の秋元義彦氏がそれを開発するきっかけとなったのは、1995年に発生した阪神淡路大震災です。震災直後に彼は被災地神戸に2千個のパンを送りましたが、半分以上が傷んでしまい、食べられずに捨てられました。その後「焼きたてのようにおいしく、日持ちがするパン」の開発に着手し、試行錯誤を繰り返して編み出したのがパンの缶詰「救缶鳥」です。そして彼は、1缶800円で企業が備蓄したパンの缶詰を、賞味期限を1年残した状態で回収し、食べ物に困る海外の地域へ届けるという社会貢献をビジネスで実現しました。彼は、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕を完全な形で行っているんですね。

桐生 RC に石井省三とう会計士の会員がおります。その方が約38年前に書いた職業奉仕の文章をご紹介します。「有益な職業の代表者である会員の方々が、最も身近な実行しやすいものは自分の職業です。これを奉仕に向けると天職と言われ、利益追求のみに向けられると単

なる金儲けになってしまうのである。」と言っています。当クラブにも素晴らしい職業奉仕をしている方がいます。小柳会員です。地区大会で小柳さんが壇上にあがりペットボトルキャップ収集について年間約600万円の出資をしていますと言っていました。自分の職業を通してこのようなボランティア活動ができることは大変素晴らしいことだと思います。

分科会では「介護老人保健施設なのはなの里」施設長大塚 節子氏の講演でした。①施設の職員による認知症理解の寸劇、②認知症サポーターについて、③認知症にならないために音楽療法による予防体操、などがありました。この予防体操は廣井委員長にお任せしたいと思います。

## 職業奉仕セミナー報告

廣井会員

お手元にある「救缶鳥」のパンフレットをご覧ください。近年災害時の備蓄品として乾パンからこのような食べやすく美味しいパンに移行されつつあります。これは備蓄品としてだけでなく食料が不足している地域への救済活動にもなります。



**救** 2年後に国際貢献となる非常食「救缶鳥」

安心できる非常食として2年間備蓄します。

パンの缶詰「救缶鳥」は3年の賞味期間のうち、2年間はお手元で有事・震災時の非常食として備蓄します。有事・震災時以外でも、おやつにレジャーにいつでも食べることができ、身近な方への贈り物としてもご利用できます。

備蓄から2年後、義援物資として国際貢献に役立ちます。

ご購入から2年が経過する1〜2ヶ月前に、支援活動へのご協力の旨、ご案内を差し上げます。残り約1年の賞味期間の間に、日本から回収・輸送され、飢饉に苦しむ国々へ届けられます。

■ 知ってほしい! 世界の飢餓のこと (資料提供: NGOの日本国際飢餓対策機構)

<p><b>穀物生産高</b></p> <p>世界の穀物生産量は、世界人口の2倍の量を養えます。</p>	<p><b>6秒に1人</b></p> <p>5歳未満の子どもの6秒に1人が飢えで命を失っています。</p>	<p><b>6人に1人</b></p> <p>世界人口の6人に1人が飢えに苦しんでいます。</p>	<p><b>5人に1人</b></p> <p>世界人口の5人に1人は1日1ドル未満で暮らしています。</p>
--	--	---	--

**缶** 「救缶鳥」が義援先の国々に届くまで

家庭、学校、マンション、企業、自治体が有事・震災対策に「救缶鳥」を2年間備蓄

回収の1〜2ヶ月前に支援活動をご案内

2年後再購入及び回収

①再度備蓄のお申し込み、納品及び回収ができます  
購入代金から「回収価格×102円(税込)」95円(税別)をデリスカウント(※お申し込み時102円税込を上限とします)②支援活動の参加者に感謝状が送られます。

回収された「救缶鳥」はNGOに送られます。

NGOの日本国際飢餓対策機構等を通じてボランティアで輸送

世界の飢饉に苦しむ人々を救う食糧として現地に届けます

**義** 被災の国々のほとんどが内戦・紛争などが原因で治安が悪く、現地に届くまでに時間がかかるため、1年もの賞味期限を確保する必要があります。被災先の国々では、パンを食べ終わった「救缶鳥」の空き缶は食器類として利用されています。

- ・シリアバシリア東部被災地
- ・スエズ湾沿岸被災地
- ・フィリピン被災地
- ・タイの洪水被災地
- ・台湾の台風被災地
- ・シンガポール被災地
- ・コンゴ民主共和国
- ・スワジランド王立支援
- ・新南支那被災地
- ・ハイチ被災地
- ・東日本大震災被災地
- ・コートジボワール被災地
- ・タンザニア被災地
- ・フィリピン被災地

※備蓄本の賞味期限は、「パン」の賞味期限と同じです。

職業奉仕セミナー報告ですが、皆様はロータリーの行動規範というものをご存じでしょうか。

### ロータリアンとして、私は以下のよう行動する

- 1 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する
2. 取引のすべてにおいて公正に務め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する
- 3 自分の職業スキルを生かして、若い人々を導き、特別なニーズを抱える人々を助け、地域社会や世界中の人々の生活の質を高める
- 4 ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける

これは、2015 年からです。昨年までは 5 項目ありました。

5. 事業や職業における特典をほかのロータリアンに求めない(2014 年度のみ) しかし、ロータリアンとして恩恵を受けるのは良いのではないかと来年また 5 番が復活する可能性があるそうです。

そして職業奉仕に欠かせないのが**四つのテスト**です。

この四つのテストの創案者は、シカゴ RC のハーバート J. テーラーです。1932 年彼は、破産寸前状態にあったシカゴの調理器具メーカー、クラブ・アルミニウム社の再建を依頼されました。総資産額を上回る負債を抱え、倒産寸前でしたが、彼はこの難事業を引き受け、自らが社長に就任しました。まず、社員たちに倫理的価値観の目安となる簡潔な指針を提供しました。当初は、7 項目ありましたが、それを自問形式の 4 項目にまとめ上げ、それが今日の四つのテストとなりました。簡潔さの中に深い意味を包含するこのテストは、クラブ・アルミニウム社が諸事決定を下す際の基本となったのです。

ある弁護士はこう言いました。「もし私がこのテストを厳密に実行したら、私は飢え死にするでしょう。ビジネスに関して言えば、四つのテストは絶対に実行不可能です」。しかし四つのテストはその後、ディーラーや顧客、そして従業員の間、会社に対する信頼と好意が生まれることになりました。これが社風の一部となり、やがて、クラブ・アルミニウム社に対する信望は高まり、財政の改善に寄与することとなったのだそうです。

あまりに理想的すぎて実社会には向かないと誰もが思うでしょう。しかし、この指標は実業界という競争の場で生き残ってきたものなのです。1942 年国際ロータリー理事が、ロータリーもこのテストを取り入れるべきだとの提案し、理事会は 1943 年 1 月承認され、今日では四大奉仕部門

のすべてにおける不可欠の要素として認識されています。創案者ハーバート J. テーラーは、ロータリーの創立 50 周年記念にあたる 1954-55 年度、RI 会長に就いた時、四つのテストの著作権を RI に移譲しています。

### 米山記念奨学寄付者表彰



#### 関口博正会員

メジャードナー第 34 回  
(340 万円以上)

#### 栗原偉憲会員

マルチプル第 3 回  
(30 万円以上)

### 出席報告

武井会員

会員数	出席	欠席	免除	MU	出席率
38	16	23	0	15	81.57%

### スマイル報告

武井会員

**渋谷会長:** 8/9 をもちまして地区セミナーすべて終了致しました。出席いただきました委員長ありがとうございました。

**折原幹事:** お盆が過ぎると涼くなるのでしょうか。今日は過ごしやすいですね。

**大作会員:** 渋谷実行委員長、夏祭り無事終了。次は流灯祭り栗原実行委員長。

**新井会長:** お本日は大変過ごしやすい温度です。毎日こんな日が続くとたすかります。

**栗原会員:** 町議会選挙に対しごめいわくをおかけした皆様ごめんなさい。

**加藤会員:** 夏休み函館へ行ってきました。小柳さんに紹介してもらった回らない高級寿司屋は最高でした。

**廣井会員:** あと 4 日でリサが来日します。ウエルカムパーティなど皆様のご協力お願い致します。

**下津谷会員:** 廣井直前会長、決算報告無事終わりご苦勞様でした。

**武井会員:** お盆も終わり秋らしい気候になりました。

**関口会員:** 明日トッパンビール祭り楽しみにしています。

**矢島会員:** 下津谷さん廣井さん渋谷会長、セミナー報告ありがとうございます。

**折原(弥)会員:真中会員:細井会員:馬場会員:**

**渡辺良一会員**

### 本日のスマイル

スマイル本日投入額	23,000円
スマイル累計額	154,000円
スマイル目標額	1,200,000円

# 杉戸RC2014-15年度会計報告

2014.7.1～2015.6.30

杉戸ロータリークラブ 平成27年8月20日

## 収入の部

科 目	本年度予算	2015.6.30 実績	摘 要
前年度繰越金		289,910	
会費		10,475,810	年会費28万X34名、特例16万X2名、退会14万X2名 自動決済端数あり
入会金		60,000	¥30000X2名(小川勝之、茂田泰典)
ビジター登録料		31,500	¥1500X11名
スマイル借入		553,000	スマイルより入金
地区補助金・助成金			※地区補助金は各事業に充て消却済み(ベンチ寄贈、杉戸町音楽祭)
特別事業準備金		0	
雑収入		19,354	決算銀行利息金、定期解約金 ¥19,354
合 計	0	11,429,574	

## 支出の部

科 目	本年度予算	2015.6.30 実績	消化率	摘 要	
ク ラ ブ 奉 仕	クラブ奉仕	502,481	%	ガバナー公式訪問¥219,887、中元 ¥72,000、卓話御礼、新年度準備、他	
	プログラム・R情報	5,000	%	セミナー登録料¥5,000	
	会報・雑誌	476,352	%	ロータリーの友¥103,680、週報作成、HP管理費、トナー交換	
	会員増強・退会防止	3,000	%	セミナー登録料	
	親睦	733,256	%	クリスマス会¥178,024、親睦旅行、チャリティゴルフ登録料、会員誕生祝	
	出席	1,097,000	%	地区大会¥420,000、ロータリーデー¥85,000、周年事業登録料	
	小計	0	2,817,089	%	
委 員 会 奉 仕	職業奉仕	5,000	%	夜話会登録料	
	社会奉仕	622,676	%	夏祭り¥5万X2、流灯祭¥10万X2、すぎスポ¥45000、障害者¥30000他	
	国際奉仕	8,000	%	国際交流協会	
	青少年奉仕	575,063	%	留学生費用、RYLA費用、青少年交換地区補助金(¥134,400入金あり)	
	特別事業費	348,058	%	杉戸町音楽祭(開催費、部活動支援金)	
小計	0	1,558,797	%		
財 団	ロータリー財団	693,002	%	セミナー登録料¥10000、レート負担金あり	
	米山記念奨学会	653,000	%	セミナー登録料¥10000 米山行事参加費¥93,000	
	小計	0	1,346,002	%	
分 担 金	地区分担金	1,107,600	%	地区分担金、比例人頭分担金¥6600(月割り)	
	RI人頭分担金	239,682	%	RI人頭分担金	
	米山普通寄付	192,500	%	上半期米山普通寄付金	
	特別分担金	39,000	%	特別分担金、新入会員追加¥2000	
	小計	0	1,578,782	%	
会 議 費	例会費	1,919,707	%	例会食事、移動例会費用、例会用品(お茶、コーヒー等)	
	会長幹事会費	155,000	%	会長・幹事会	
	小計	0	2,074,707	%	
事 務 局 費	事務用品費	108,222	%	コピー用紙、プリンターインク、領収書、祝儀袋、乾電池、他	
	印刷費	61,287	%	年度計画書作成費¥50000、材料費	
	通信費	233,607	%	電話代・FAX・携帯代、切手代、ハガキ、宅配便、インターネット	
	人件費	1,280,000	%	早川:80,000円X4ヶ月、穂刈:80000X12ヶ月	
	慶弔費	122,120	%	結婚祝、出産祝い、香典、花輪、	
	支払手数料	33,984	%	振込手数料	
	事務所費	0	206,473	%	リース料金(コピー機、レーザープリンター、PC)、トナー交換
	予備費	0	0	%	
	小計	0	2,045,693	%	
	合 計	0	11,421,070	%	

収支合計	0	8,504	
------	---	-------	--

収入 11,429,574円 - 支出 11,421,070円 = 8,504円

上記の通り報告します。平成27年8月20日 杉戸ロータリークラブ 会長 廣井 慎一 会計 矢島 紀一